

令和7年度2年目看護師交流会の活動報告及びアンケート

〈日時〉 令和7年10月18日(土)13:30～16:00

〈場所〉 ながさき看護センター

〈対象者〉 施設勤務の2年目看護師

〈参加者〉 30名（前年度34名）

〈方法〉 グループワーク：KJ法（ラベルワーク）

※事例に参加者に事前に提示し、看護に対するそれぞれの考えを出し合うことができた

I フェイスシート

1. 職種

保健師	助産師	看護師	准看護師	合 計
0	0	29	0	29

2. 年齢

20 歳代	30 歳代	40 歳以上	合 計
27	2	0	29



II 2年目看護師の交流会について

1. 交流会全体の満足度について

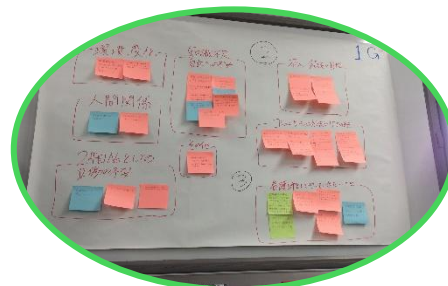
満足	やや満足	やや不満	不満	合計
19	10	0	0	29

2. グループワークにおいて、自分の意見は伝えられましたか？

十分できた	まあまあできた	あまりできなかった	全くできなかった	合計
15	14	0	0	29

3. 今後の課題や目標について考えることができましたか？

考えることができました	考えることができなかった	合計
29	0	29



その理由を教えてください。（複数回答可）

1) 考えることができた方

課題が見つかった	やるべきことが解った	自分の振り返りができた
19	11	22

2) 考えることができなかった方

難しかった	考えがまとまらなくなった	やるべきことが解らない	その他
0	0	0	0

4. 2年目看護職がさらにキャリアアップするための方法や要望、アイデアを教えてください。

- ・他の2年目看護師と不安なことや悩みを共有できてスッキリした
- ・自分たちは看護師として多くの業務や患者との関わりを行っているが多職種と連携していくことで本人、

家族に対して支援していこうと思った

- ・色んな病院の中の話聞くことができて、それぞれの悩みや喜びをお互いに話し合う事が出来た。
- ・色んな病院の中の話聞くことができて、それぞれの悩みや喜びをお互いに話し合う事が出来た。
- ・それぞれの病院での悩みや共通の悩みを共有できたことがよかった
- ・課題がみつかった
- ・自分自身の振り返りができた
- ・他職種との情報共有の大切さ。患者家族との意見交換の場を設け方向性の確認をする必要性があるとわかった。
 - ・同じ悩みがあったり、違う考えに触れたりできたので不安の軽減になった
 - ・周りの2年目の方はとても頑張っていて、自分も頑張ろうと思えました
 - ・看護観が明確にできた！
 - ・業務の振り返りが出来ました。
 - ・同じ悩みを考えている方と出会えて自分だけが悩んでいるのではないと安心できた
 - ・改めて患者との関わり方について考えることができた
 - ・今私が患者さんに対して行っている看護について振り返りができました。同じ2何目の人たちと悩みなどを共有することで悩んでいるのは自分だけではないと感じました。今回の事例を通して感じたことを今後の看護に活かしていきたいです。
 - ・事例を通して患者やその家族が安心して生活できるように自分に出来ることを考えることが出来た
 - ・改めて2年目としての行動をかがえることができた
 - ・普段交流する機会ない他施設の2年目看護師同士で、悩みなどの共有や事例を通して自分達のこれからの看護観を改めて考え直した良い機会になりました。ありがとうございました。
 - ・他病院の方と学びを共有できた
 - ・それぞれの看護観を知ることが出来て良かった
 - ・違う病院の2年目の人たちと意見を言えてまた違った視点をみることができた
 - ・他の病院の方と交流することで、業務内容の違いを理解でき、他の視点で物事を考えることができた
 - ・みんなの意見を聞くことで自分とは違った考えを聞くことができ、新たな自分の課題等が見つかった
 - ・知識や技術を深めたい
 - ・事例を通して、患者さんや家族の立場も考えて、診療上の世話だけでなく療養上の世話にも目を向けるべきだと学んだ
 - ・患者さんや家族へのコミュニケーションを行うことの必要性や、多職種と連携することの必要性がわかった
 - ・2年目看護師の意見がきけてよかった
 - ・成長出来たことが分かった
 - ・同じ年数の方々と意見交換の中で自分の経験不足や思っていることを改めて考えることが出来ました

5. 2年目看護職がさらにキャリアアップするための方法や要望、アイデアを教えてください。

- ・今回のような交流などをできる機会も増やして欲しい
 - ・様々な内容の研修を開いて欲しいです
-

-
- ・忙しい業務のなかでも看護師の基本をたまに振り返ることが看護の質を高めるとまなんだ
 - ・交流会や先輩看護師との交流を設ける
 - ・常日頃の学習
 - ・多重業務を乗り越えるために看護技術知識を身につける
 - ・不安な技術等を募集して、その練習会を行う。各病院の教育体制にも触れ、今後どうしていけばいいかの話を行う
 - ・コミュニケーション能力の向上
 - ・がんばる！
 - ・研修の機会を増やす
 - ・研修の開催
 - ・様々な研修を受けること
 - ・事例を踏まえたアセスメントや意見交換
 - ・定期的に研修を開いて頂くと自分の行動だったりを振り返れる
 - ・よかったです
 - ・もっと今回のような研修を行いたい
 - ・1年目より先輩たちに相談しやすくなっているため、どんどん質問して成長して行きたい
 - ・交流会を継続していく
 - ・まず、知識の定着を必須としそのあとその人に合った看護(個別性)を行っていきたい
 - ・知識や技術を深めるために自己研鑽する
 - ・グループワークが良かったです
 - ・もっと交流の場を作る
 - ・意見交流できる場があったので良かったと思う
 - ・研修に参加し今後のキャリアアップに努めていきたい
 - ・他職種との連携をより意識する
-